

試験や大会 浦工生活躍



電気通信国家資格取得

中西・高江洲さん

県高校ロボット相撲V

米盛・山城さん

【浦添】市経塚の浦添工業高校情報技術科の生徒が活躍の場を広げている。昨年12月に、電気通信工事の国家資格「AI・DD総合種」に3年の中西未来さん(18)と高江洲魁人さん(18)が合格。11月には3年の米盛晴稀さん(18)、山城佑斗さん(18)が第27回県高校ロボット競技大会ロボット相撲の部(自立型)で優勝した。

快挙に自信 広がる夢

AI・DD総合種は、アナログ電話回線やデジタルデータ回線などにパソコンなどを接続したり、その作業を監督したりする工事担当者に必要な資格。指導した同科の金城達也教諭によると「大人でも難しい難関資格」と言う。今回は全国で約4500人が受験し約1300人が合格(合格率約28%)した。中西さんと高江洲さんは、金城教諭に「AI・DD総合種を目指さないか」と勧められ、受験を決意。1年の時から午前7時半に登校し、試験勉強を続けた。

高江洲さんは「放課後や土日も勉強して、友達と遊べないのはつらかったけど、合格して良かった。卒業後は進学する。電気主任技術者など他の資格も取って、将来に生かせたら」と喜んだ。卒業後、就職する中西さんは「後輩にも慕われるかっこいい電気工士になりたい」と意気込んだ。

ロボット相撲で優勝した米盛さんと山城さんは、去年は準優勝だった。優勝を目指して2人でロボットを改良。3校4チームが出場した大会に臨み、いずれの試合も相手のロボットが動かないなどの不具合があり、優勝した。肩透かしを食らった2人だが、「(県大会後の)九州での交流会でロボットを見てもらえた」と喜んだ。

2人は福岡県の専門学校に進学する。山城さんは「セキュリティ系のプログラマーになりたい」。米盛さんは「ゲームを作るプログラマーになりたい」。ロボット相撲で実際にプログラミングしたロボットを人前で動かす経験ができて良かったと目を輝かせた。

⑤AI・DD総合種に合格した中西未来さん(左)と高江洲魁人さん(右)がロボット相撲で優勝した山城佑斗さん(左)と米盛晴稀さん(右)と。

昨年12月21日、浦添工業高